

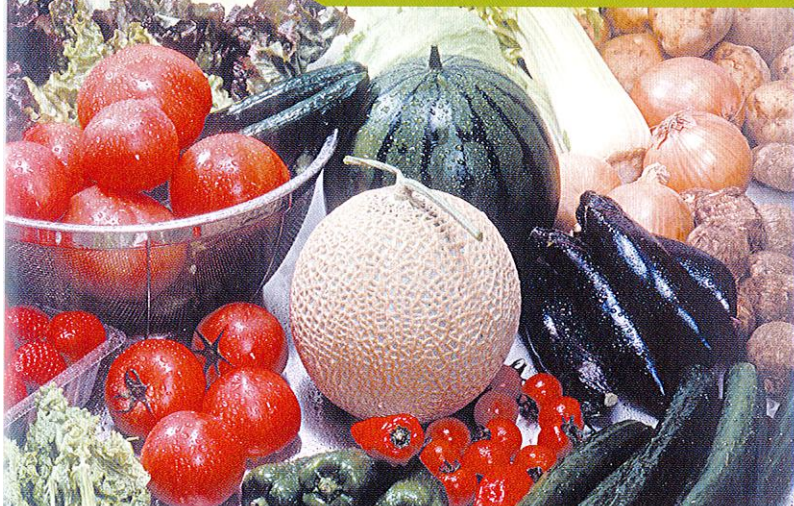
進化した・・・細胞膜貫通型酵素ケイ酸とサッチ分解・病害抑制の活性液肥

THE HARD NUTRIENT

超

ハード葉素

2kg(1.5ℓ) × 10本



4ツ

キーワードは・・・

- 1 光合成5倍力 〈貫通型酵素ケイ酸〉
- 2 生命エネルギー力 〈ブドウ糖とミトコンドリア〉
- 3 リン酸吸収早効力 〈亜リン酸〉
- 4 善玉菌のサッチ分解・善玉菌化力 〈好熱菌バクテリアホウジョウ〉

水溶性 ケイ酸	水溶性 加里	水溶性 リン酸	キレート 鉄	ブドウ糖 (トレハロース)	その他
18%	5%	1%	1%	8%	苦土 3% マンガ 1% ホウ酸 1%

微生物・・・・・・好熱菌(バクテリアホウジョウ菌) 6.9×10⁸



サン化研株式会社

本社

〒589-0023 大阪府大阪狭山市大野台4-26-8
TEL : 072-366-2012 / FAX : 072-367-3533

進化した・・・細胞膜貫通型酵素ケイ酸とサッチ分解・病害抑制の活性液肥



ハード葉素

THE HARD NUTRIENT

2kg(1.5ℓ) × 10本

“超ハード葉素”4つの特性

特性
1

"超ハード葉素"の含有ケイ酸は作物の細胞を貫通する貫通型酵素複合ケイ酸となっています。従って、このケイ酸が葉身にレンズ(ケイ化細胞)を作り葉茎に点在し、太陽光線を10倍に射光・散乱させるのです。結果、光飽和点を考察し光合成能を算出してみますと、略5倍に増幅することになります。

特性
2

"超ハード葉素"含有のブドウ糖(トレハロース)は小細胞であるミトコンドリアに取り込まれ、エネルギーとして転化されます。結果、作物の生育維持力が2倍となります。

特性
3

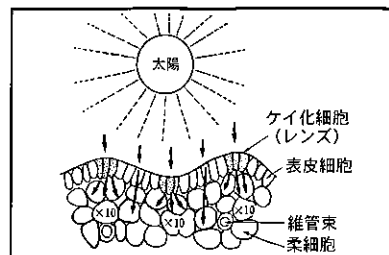
"超ハード葉素"の亜リン酸(H_3PO_3)は正リン酸(H_3PO_4)に比べて酸素(O)が一個少ないのです。そのため分子量が小さく作物は吸収が容易となります。

結果、スムーズに吸収されたリン酸は、増収効果や品質向上効果、花数の増加、根張りの向上等が報告されています。又、病害抵抗性を誘導するため、べと病や疫病、根腐病、芝生のラージパッチ、葉枯病、赤焼病、ダラースポット等に抑制効果を発揮します。

特性
4

"超ハード葉素"含有の好熱菌(バクテリアホウジョウ)は 6.9×10^8 と最高単位で含有されています。その効果、サッチ(未分解有機物)を分解する場合は、好熱菌から分泌するセルラーゼで、又、病害菌(ビシウム菌、リゾクトニア菌、紫紋羽菌、パーチシリウム菌、フザリウム菌)を善玉菌化する場合は、好熱菌から分泌するキナーゼで、各々分解、解体や、開裂、破滅させます。

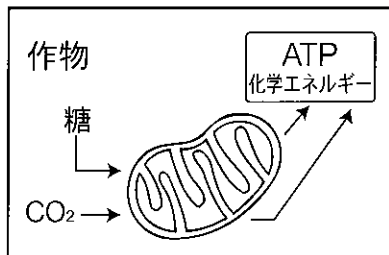
結果、サッチ分解効果は分解率80%/6か月、善玉菌化効果は、開裂率約60%/12か月等と、実証されています。



■ ケイ酸の光散乱効果(カウフマンの天窓仮説)



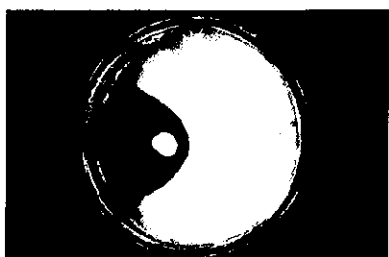
■ イネケイ酸輸送体の組織および細胞局在



■ ミトコンドリア



■ 芝のサッチが好熱菌(バクテリアホウジョウ)で分解実写



■ 悪玉菌(病害菌)を抑える
善玉菌(好熱菌=バクテリアホウジョウ)実写



ハード葉素の使用法

■ 芝生の場合

タンク車(水1,000ℓ)に、超ハード葉素2kg(1本)を入れて500倍液とします。散布量のかための芝作り、サッチ分解、病害予防等の目的に応じて・・・

250~500cc/m散布をお奨めします。



注

他の液剤と混用する場合、超ハード葉素を溶かした後、他の液剤を混合して下さい。

■ 蔬菜・果樹・花卉の場合

動霧タンク(水500ℓ)に超ハード葉素1kg(1/2本)を入れて500倍液とし、10a当り300ℓに葉面表裏に散布して下さい。時期は、例えばイチゴのうどんこ病予防や炭疽病予防の場合、発生が予想される10~15日前に散布して下さい。(生育期間中3~4回散布を繰り返す)

※又、畑地灌水施用にもお奨めします。

原則、500倍液を慣行施用水量に合わせて下さい。